

第4次千早赤阪村総合計画 むらの将来像（案）

（案1）

つど はぐく やさ むす むらびとのさと
 『ひとが**集**うひとを**育**むひとに**優**しいひとを**結**ぶ ※村人の里—ちはやあかさか』
 ※他の提案「健やかな村人の里」「潤いの里」「ふるさと」

「ひとが集う —観光力—」

村の豊かな自然・歴史資源を生かし、多くの人々が村を訪れる活力あるむらづくりをめざします。

「ひとを育む —教育力—」

村づくりは人づくりを基本に、次世代を担う子どもたちの育成と地域や村民みんなが育つむらづくりをめざします。

「ひとに優しい —環境力—」

村の自然を保全し、地球環境にやさしいむらづくりをめざします。

「ひとを結ぶ —協働力—」

一人ひとりが、互いに尊重し合い、地域社会の基礎となる人と人との信頼の絆を結び、真の豊かさを求めるむらづくりをめざします。

（案1—1）

つど はぐく やさ むす むらびとのさと
 『ひとが**集**うひとを**育**むひとに**優**しいひとを**結**ぶ ※村人の里—ちはやあかさか』

—夢をもって子育てができる こごせ 金剛山のむら—

※他の提案「健やかな村人の里」「潤いの里」「ふるさと」

(案2)

『緑・歴史が薫り、人のあたたかさに包まれて、夢と子どもを育む村 ちはやあかさか』

「緑・歴史が薫り ―自然・歴史の活用―」

金剛山の豊かな自然資源と楠木正成ゆかり歴史資源を生かし、多くの人（交流人口）が村を訪れる活力ある、訪れたいむらづくりをめざします。また、貴重な財産である自然・歴史資源を保全します。

「人のあたたかさに包まれて ―人の輪―」

一人ひとりが、互いに尊重し合い、地域社会の基礎となる人と人との信頼の絆を結び、真の豊かさを求めるむらづくりをめざします。

「夢と子どもを育む ―次世代へ引き継ぐ―」

むらづくりは人づくりを基本に、夢と希望を持って次世代を担う子どもたちを育み、また地域や村民みんなが育つむらづくりをめざします。

(案3)

『こごせ 金剛山の緑と歴史に抱かれ、活力と人の輪があふれるむら ちはやあかさか』

金剛山の豊かな自然資源と楠木正成ゆかり歴史資源を生かし、多くの人（交流人口）が村を訪れる活力ある、訪れたいむらづくりをめざします。また、貴重な財産である自然・歴史資源を後世に大切に伝えていくとともに、地域の産業や観光を最大限に活用したむらづくりをめざします。。

一人ひとりが、互いに尊重し合い、地域社会の基礎となる人と人との信頼の絆を結び、人の輪を大切にするむらづくりをめざします。また、村づくりは人づくりを基本に、次世代を担う子どもたちを育み、また地域や村民みんなが育つむらづくりをめざします。

(案3―1)

『こごせ 金剛山の緑と歴史に抱かれ、活力と人の輪があふれる ちはやあかさか』

―子どもの声がこだまする 元気ふるさとむら―